

# I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の大田区政の設計や方向性を検討する際の基礎資料とする。

## 2. 調査項目

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| (1) 定住性               | (9) 空港臨海部のまちづくり     |
| (2) 暮らしやすさ            | (10) 自治会町会等の活動について  |
| (3) 健康に暮らせるまち         | (11) 消費者支援          |
| (4) バリアフリー・ユニバーサルデザイン | (12) 防災対策（ペットの防災含む） |
| (5) 生涯教育の推進           | (13) 緑化推進・省エネ推進     |
| (6) 男女平等の推進           | (14) 地球環境           |
| (7) 高齢者虐待相談・通報窓口の周知度  | (15) 清掃・リサイクルの推進    |
| (8) 公園緑地              | (16) 区政への関心と要望      |

## 3. 調査の設計

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 調査地域  | 大田区全域  |
| (2) 調査対象  | 大田区内に居住する満20歳以上の男女個人（外国人を含む）                       |
| (3) 標本数   | 2,000人   |
| (4) 調査地点数 | 200地点  |
| (5) 抽出法   | 層化二段無作為抽出法   |
| (6) 調査方法  | 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施 |
| (7) 調査期間  | 平成26年7月18日～8月5日                                    |
| (8) 調査機関  | 株式会社エスピー研  |

## 4. 回収の結果

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 回収数   | 1,120人（電子申請102件含む）（回収率 56.0%） |
| (2) 有効回収数 | 1,119人（有効回収率 56.0%）           |

## 5. この報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別等)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。
- (5) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

## 6. 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差(二段抽出の場合)  
N = 母集団数(大田区の満20歳以上の男女個人)  
n = 比率算出の基数(サンプル数)  
P = 回答の比率(%)

※後にかかげる表は  $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$  として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(1,119人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%で

あった場合の標本誤差を計算すると、 $b = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{1,119}} = \pm 4.2\%$  となる。

つまり、回答者総数(1,119人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満20歳以上の男女)の真の値は45.8%~54.2%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表 (信頼度 95%)

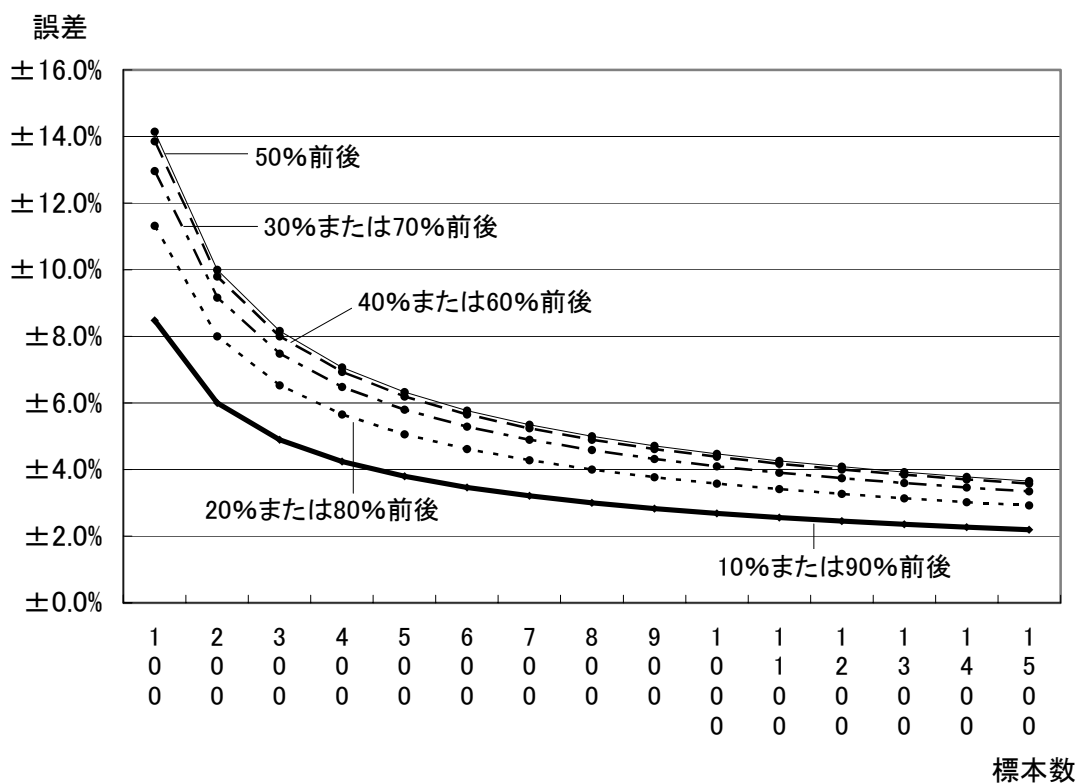


図2 本調査における標本誤差一覧 (信頼度 95%)

基数 (n)		回答の比率 (P)					
		10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後	
全体		1,119	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%
地域別	大森地域	378	±4.4%	±5.8%	±6.7%	±7.1%	±7.3%
	調布地域	282	±5.1%	±6.7%	±7.7%	±8.3%	±8.4%
	蒲田地域	320	±4.7%	±6.3%	±7.2%	±7.7%	±7.9%
	糎谷・羽田地域	111	±8.1%	±10.7%	±12.3%	±13.2%	±13.4%
性別	男性	409	±4.2%	±5.6%	±6.4%	±6.9%	±7.0%
	女性	648	±3.3%	±4.4%	±5.1%	±5.4%	±5.6%
性/年代別	男性20代	37	±13.9%	±18.6%	±21.3%	±22.8%	±23.2%
	男性30代	57	±11.2%	±15.0%	±17.2%	±18.4%	±18.7%
	男性40代	82	±9.4%	±12.5%	±14.3%	±15.3%	±15.6%
	男性50代	70	±10.1%	±13.5%	±15.5%	±16.6%	±16.9%
	男性60代	69	±10.2%	±13.6%	±15.6%	±16.7%	±17.0%
	男性70歳以上	93	±8.8%	±11.7%	±13.4%	±14.4%	±14.7%
	女性20代	51	±11.9%	±15.8%	±18.1%	±19.4%	±19.8%
	女性30代	119	±7.8%	±10.4%	±11.9%	±12.7%	±13.0%
	女性40代	118	±7.8%	±10.4%	±11.9%	±12.8%	±13.0%
	女性50代	106	±8.2%	±11.0%	±12.6%	±13.5%	±13.7%
	女性60代	113	±8.0%	±10.6%	±12.2%	±13.0%	±13.3%
	女性70歳以上	139	±7.2%	±9.6%	±11.0%	±11.8%	±12.0%

## 7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満 20 歳以上の男女個人（外国人を含む）  
（平成 26 年 4 月 1 日時点）
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 2,000
- (4) 調査地点数 200 地点
- (5) 抽出法 層化二段無作為抽出法
- (6) 地域区分 区内を、4 地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）に分類し、それぞれを層とした。

地域名	所 管 区 域
大森地域	大森東特別出張所管内、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鶉の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糀谷・羽田地域	糀谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図 3 地域図



- (7) 標本数の配分 1 地点は 10 標本になるように各地域における 20 歳以上の人口（平成 26 年 4 月 1 日現在）に応じて地点を比例分配した。（合計 200 地点）
- (8) 地点抽出 各地域ごとに地点数に応じた対象者人口インターバルを定め、各地点のスタート番号を無作為抽出した。
- (9) 対象者抽出 1 地点ごとに、「(7)」で設定した標本数を無作為抽出した。

以上の結果、地域別の地点数、標本数及び有効回収数は次のとおりである。

地域名	20歳以上人口(構成比)	地点数	標本数	有効回収数(率)
大森地域	199,253 ( 33.3%)	66	660	378 (57.3%)
調布地域	152,876 ( 25.5%)	51	510	282 (55.3%)
蒲田地域	181,672 ( 30.3%)	61	610	320 (52.5%)
糀谷・羽田地域	64,844 ( 10.8%)	22	220	111 (50.5%)
無回答				28
合計	598,645 (100.0%)	200	2,000	1,119 (56.0%)